

「大学入学者選抜方法の改善に関する協議」におけるワーキンググループの設置について

平成30年12月4日

平成30年度大学入学者選抜方法の改善に関する協議

1 目的

大学入学者選抜で「読む」「聞く」「話す」「書く」の英語の4技能を適切に評価するため、大学入学共通テストの枠組みにおいて、現に民間業者等により広く実施され、一定の評価が定着している資格・検定試験を活用することとし、これを具体化するための仕組みとして「大学入試英語成績提供システム」を大学入試センターにおいて構築しているところである。

今後、本システムの適切な運用がなされるよう、大学入学者選抜における英語の4技能評価に関係する団体並びに試験実施団体等によるワーキンググループを設置し、整備の進捗状況を共有するとともに、必要な事項について意見交換を行うことを目的とする。

2 ワーキンググループの名称

大学入試英語4技能評価ワーキンググループ

3 検討事項

- (1) 「大学入試英語成績提供システム」の整備状況に関する事項
- (2) 「大学入試英語成績提供システム」で想定される問題とその対応に関する事項
- (3) その他

4 実施方法

- (1) 別紙に掲げる大学及び高等学校の関係者、「大学入試英語成績提供システム」参加試験実施団体並びに有識者の協力を得て、上記3に掲げる事項について検討を行うものとする。
- (2) 必要に応じ、別紙に掲げる者以外の者にも協力を求めるほか、関係者の意見等を聞くことができるものとする。
- (3) 座長を置くこととする。座長は事務局が委嘱する。座長は、本ワーキンググループの事務を掌握する。
- (4) 本ワーキンググループは、大学入学者選抜の実施方法に関する事項等について検討するものであり、会議の議事を公開した場合、構成員の自由な意見交換が制約され、円滑な運営が妨げられるおそれがあり、審議を公正、円滑に実施する上で支障が生じると考えられること、大学入学者選抜等に係る非公開の情報をもとに検討を行う必要があることなどから、原則として非公開で行うものとする。

5 実施期間

平成30年12月18日～平成31年3月31日

6 庶務

本ワーキンググループの庶務は、高等教育局大学振興課大学入試室が処理する。

大学入試英語 4 技能評価ワーキンググループ委員名簿

青山 智恵	ケンブリッジ大学英語検定機構試験開発部門日本統括マネージャー
石崎 規生	千代田区立九段中等教育学校長
石橋 敬太郎	岩手県立大学盛岡短期大学部教授
沖 清豪	早稲田大学文学学術院教授
奥 明子	日本私立短期大学協会副会長、学校法人貞静学園理事長、 貞静学園短期大学学長
鹿島 英亮	公益財団法人日本英語検定協会検定事業部部長
川上 浩良	首都大学東京学長補佐（アドミッション・センター長兼務）教授
込山 智之	株式会社ベネッセコーポレーション GTEC・グローバル事業開発部長
笹 のぶえ	全国高等学校長協会会長、東京都立三田高等学校校長
塩崎 修健	公益財団法人日本英語検定協会教育事業部部長
田中 純	東京大学教養学部教授
根本 斉	一般社団法人 CIEE 国際教育交換協議会事業統括本部長
羽田 邦弘	埼玉県教育局県立学校部副部長
春名 啓紀	株式会社ベネッセコーポレーション取締役
平方 邦行	工学院大学附属中学校・高等学校長、日本私立中学高等学校連合会常任理事
前田 剛	IDP:IELTS Australia 業務管理及び事業開発マネージャー
三橋 峰夫	一般社団法人国際ビジネスコミュニケーション協会 R&D 室室長
安井 利一	明海大学学長
安田 智恵	ブリティッシュ・カウンシル試験部部長
○山口 佳三	北海道大学名誉教授
義本 博司	独立行政法人大学入試センター理事
渡邊 伸雄	一般社団法人 CIEE 国際教育交換協議会 TOEFL 事業部課長

計 22 名

○：座長

※平成 31 年 1 月 23 日、浅田委員に代えて義本委員を委嘱